

実施計画書 兼 事業説明書

【政策 4 : 産業・交流】

地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち

【施策 4-1】 農家の担い手を育て儲かる農業をめざします

【施策 4-2】 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、
地域経済の活性化を図ります

【施策 4-3】 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、
移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
------	----------------------------

所 管	産業振興部
関 連	
関 連	

◆ミッション

豊かな暮らしを創出するため、「稼ぐ力」を意識した戦略的な産業振興策を展開し、移住・定住促進策と併せ、魅力ある「商都・農都・住都 小諸」を創る強い推進力とし、人口減少対策につなげる。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に人々の意識や社会のシステムが大きく変革し、新たな局面に入ったことを強く意識して政策を進める。

◎農と食のブランド化を推進し、農業の生産性向上を進めることで、農家の所得向上を図る。

◎地域の強みを活かした企業誘致を積極的に推進し、既存企業・事業者、新規起業家への支援を強化する。

◎こもろ観光局と連携し、観光地域づくりと懐古園の魅力アップを図る。

◆方 針

◎農と食のブランド化を推進し、農業の生産性向上を進めることで、農家の所得向上を図る。

小諸市の歴史・文化・風土を活かした農と食のブランド化による農産物の高付加価値化を推進するとともに、生産性向上のための農地の利用集積や基盤整備を進めることで、農家の所得向上を図る。そして、魅力ある農業、稼げる農業となることで、農家の経営安定と新規就農者の増加や、荒廃地の解消を目指す。

◎地域の強みを活かした企業誘致を積極的に推進し、既存企業・事業者、新規起業家への支援を強化する。

小諸市の立地特性と新型コロナウイルス感染症の影響による企業の新たなニーズを踏まえる中で、小諸としての強みを活かした企業誘致を積極的に推進する。また、既存企業・事業者に対しては生産性の向上や経営・資金面での支援を行うとともに、新たな起業チャレンジへの支援を商工会議所と連携して進める。

◎こもろ観光局と連携し、観光地域づくりと懐古園の魅力アップを図る。

こもろ観光局と密接に連携・協力し、小諸の自然や歴史・文化を活かした効果的なプロモーションを展開するとともに、地域の魅力を掘り起こし、市全体で来訪者を受け入れる「観光による地域づくり」に取り組み、インバウンドも含めた交流人口の増加を目指す。また、動物園再整備などにより入園者が減少している懐古園の魅力アップを進め、入園者の増加を目指す。

◎人口減少に歯止めをかけるため移住・定住を促進する。

引き続き、空き家バンクの充実や移住相談会の開催、民間宅地開発の誘導、交流人口・関係人口の拡大等により移住・定住者の増加を図る。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた「新しい生活様式」を踏まえ、テレワークやサテライトオフィス等の新たな地方移住の需要取り込みを積極的に進める。

◎新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済の回復を図る。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、落ち込んだ地域経済の回復を図ることを最優先に取り組むこととし、市内事業者の状況把握に努めるとともに、感染の状況や収束後を見据える中で、地域の実情に応じた適時的確な経済対策を実施する。

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-1	農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

所 管	農林課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

農業は小諸市の基幹産業であるが、ほ場の傾斜がきつく面積も小規模な中山間地という立地条件に恵まれていない状況もあり、農家数の減少、農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足及び遊休荒廃地の増大などが課題となっている。担い手の育成や確保については、新規就農者や振興作物等への支援など、多様な経営体による営農の維持・発展が不可欠であり、稼ぐ力を意識した魅力ある農業への変革が必要である。

◆方針

目的
農業が儲かる産業となり夢が持てるようにならないと、後継者や新規参入者等の担い手は育たない。 そこで、農地の利用集積や基盤整備を進める中で、気候変動に対応した優良産地の団地化により、農産物の競争力を高めるとともに、「農」と「土壌」に着目したアグリシフトの推進を図る。また、生産するだけでなく「どう売るか」を農商工業者とマーケティング専門家との協働により、「小諸ブランド」を創造し強化を図ることで、儲かる農業を目指す。 また、既に生産物の販路が確立された地域においては、農業の生産性をさらに向上させ、儲かり続ける農業を目指す。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ①優良農地の保全を優先して取り組み産地の維持と新たな品目等の推進により持続的な営農を可能とする儲かる農業を目指す。
- ②新たな取組・農ライフ等で新たな担い手による遊休農地の活用を推進する。
- ③森林経営管理制度・森林環境譲与税活用による事業を推進する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①農地・農道・水路等の基盤整備が進み、農地が保全され、効率的な農業ができている状態。 ②農地の利用集積が進み、耕作放棄地が増えない状態。 ③農産物等における小諸ブランドが確立され、ビジネスとして成り立っている状態。 ④森林が整備され、野生鳥獣による農業被害が増えていかない状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	基幹的農業従事者の農業所得(年間200万円以上の人数)					
設定理由	農家所得の向上が魅力ある持続可能な農業につながるため。					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	93	計画	96	99	102	100
		実績	77	83		
指標名	再生利用が可能な荒廃農地面積					
設定理由	年々増加する農地の荒廃化を防ぎ、荒廃農地のうち再生可能な農地を賃貸借の推進により再生する必要があるため。					
算式						単位 ha
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	306	計画	306以下	306以下	306以下	306以下
		実績	283	263		
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①農地・農道・水路等で大規模に整備・改修が必要となるものについて、補助事業の活用(採択)により推進する。防災減災対策を推進する。
②農地利用最適化の取組みを推進する。
③アグリシフトプロジェクトによりブランド化を推進する。新たな農産物生産・産地形成に取り組む。
④森林経営管理制度により、整備実施に向けて計画的に推進する。野生鳥獣対策を安定的に実施する。
⑤小規模農地の利活用者の増加を目指し、新たな農の取組・農ライフを推進する。

◆SDGsの取り組み

ゴール2「飢餓をゼロに」 環境と調和した持続可能な農業を推進し、生産技術の向上やスマート農業の導入により、農地や労働力を確保し食料自給率の向上を目指すとともに、生産者の所得の確保・向上を図るなど、食料生産システムの確立と安定的な農業経営を目指す。 ゴール13「気候変動に具体的な対策を」 ゴール15「陸の豊かさも守ろう」 森林や農地等の適切な維持管理や、水路等の農業用施設の強靱化を推進するなど、良好な環境を保持していくことで、気候変動等による悪影響を最小限に抑制し、自然災害等から地域を守る。
--

◆個別計画

農業振興地域整備計画／農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想／森林整備計画
--

◆特記事項

--

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

農業委員会運営費		新規・継続		事業優先順位		
会計・款・項・目		継続		B		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費		所管課		市長公約事項		
		農林課		1:無		
事業概要	【運営費】					
	農地法等の法令業務の執行等、農業委員会活動にかかる運営費					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		19,585 千円	17,310 千円	17,310 千円	
	特定財源	国・県支出金	2,399 千円	2,399 千円	2,399 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	10 千円	10 千円	10 千円	
		一般財源	17,176 千円	14,901 千円	14,901 千円	
目的	農地法等の法令業務の適正な執行、優良農地の確保・農地利用最適化及び農業振興。					
	令和6年度の目標					
農地法等の法令業務の適正な執行及び地域計画の策定、優良農地の確保・農地利用最適化を行う。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	農業委員会の開催数		回	12	12	12
	農業者との話し合い		回	7	7	7
第25期農業委員会の任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日まで						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

機構集積支援事業		新規・継続		事業優先順位	
		継続		B	
会計・款・項・目		所 管 課		市長公約事項	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・1農業委員会費		農林課		1:無	
事業概要	・農地の利用状況調査をもとに、耕作放棄地の所有者等に利用意向調査を行う。 ・利用意向調査の結果をもとに農地の利用関係の調整を行う。 ・農地の有効活用を促進するため、耕作放棄地対策事業を実施する。				
投入指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費	8,418 千円	7,968 千円	7,968 千円	
	特定 財源				
	国・県支出金	550 千円	550 千円	550 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,020 千円	1,020 千円	1,020 千円	
	一 般 財 源	6,848 千円	6,398 千円	6,398 千円	
目的	農地の流動化を図るため、優良農地の確保及び耕作可能農地の確保を行う。 農地の有効利用を図るため、担い手への農地の集積を図る。				
令和6年度の目標					
農業委員、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構の連携により、農地を担い手へ集積させ農地利用の最適化を図る。 農地利用状況調査により把握した情報を活用し、遊休農地の担い手への集約・集積を進める。					
活動目標 特記事項	指 標 名	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	再生利用が可能な荒廃農地面積	ha	306以下	306以下	306以下
	耕作放棄地所有者等の利用意向調査	件	300	300	300

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

農業農村振興事業		新規・継続		事業優先順位		
		継続		B		
会計・款・項・目		所 管 課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無		
事業概要	・農業生産の拡大や各作物の振興を図ることを目的に、農業者や各種団体等への負担金及び補助金、交付金を支出 ・都市農村交流等による農村の活性化をブランド化等と併せて推進 ・非農家の家庭菜園ニーズに応える市民農園の貸付及び運営、管理					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		14,221 千円	14,221 千円	14,221 千円	
	特定財源	国・県支出金	5,967 千円	5,361 千円	5,361 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	300 千円	300 千円	300 千円	
		一 般 財 源	7,954 千円	8,560 千円	8,560 千円	
目的	農業農村振興に寄与する各種団体への補助金交付により、農業者の経営安定と農業構造の改善を図り、もって農業の活性化を推進する。					
令和6年度の目標						
・直面する課題等を分析し、負担金及び補助金、交付金等が効果的かつ効率的に執行できるよう関係団体等との協議を積極的に行う。 ・農業者の経営安定と農業構造改革につながるよう適正に執行する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	水稻作付目安値達成状況(100%以下)		%	100	100	100
特記事項						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

畜産振興事業		新規・継続		事業優先順位		
		継続		B		
会計・款・項・目		所 管 課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無		
事業概要	安全で安心な畜産物の生産供給を図るため、小諸市家畜自衛防疫協会を組織して関係機関と連携し、生産者が行う自衛防疫活動支援等を推進する。 ・各種予防注射、消毒等の推進 ・畜産衛生広報の推進等					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		2,270 千円	2,036 千円	2,270 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	804 千円	609 千円	804 千円	
		一 般 財 源	1,466 千円	1,427 千円	1,466 千円	
目的	生産者が実施する予防注射や消毒等の自衛防疫活動を支援することにより、安全で安心な畜産物の生産供給及び畜産業の活性化、農業者の所得向上を図る。					
令和6年度の目標						
・伝染病発生等の危機管理を徹底するとともに、関係情報を適時に発信する。 ・畜産をめぐる情勢や動向、国の新規制度等を迅速に把握し、農業者に適切な指導を行う。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	牛予防注射・検査実施率		%	100	100	100
特記事項						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

農産物加工施設「あぐりの湯こもろ」			新規・継続		事業優先順位		
農村資源活用施設管理事業			継続		B		
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費			農林課		1:無		
事業概要	・「あぐりの湯こもろ」「みはらし交流館」「農産物加工施設」等の適切な維持管理 ・温泉の活用により市民の健康増進や福祉向上を図る。 ・施設の特長を生かした農産物ブランド化や6次産業化等により、農業農村の活性化を図り、農家経営所得の向上につなげる。						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		5,464 千円	35,464 千円	5,464 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	60 千円	60 千円	60 千円		
		一 般 財 源	5,404 千円	35,404 千円	5,404 千円		
目的	「あぐりの湯こもろ」「みはらし交流館」「農産物加工施設」等の適切な維持管理を行い、利用客を確保するとともに、地産地消推進や地域雇用拡大、6次産業化推進等により農業者の所得向上を図る。						
令和6年度の目標							
・【あぐりの湯】農産物等の情報発信拠点として品揃え等の充実を図る。 ・【みはらし交流館】関係人口の増加に向け、地域資源と連携した取組を行う。 ・【農産物加工施設(小諸すみれ)】後継者問題等の解決に向けた研究を共同で行う。							
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	あぐりの湯こもろ 入館者数			人	200,000	200,000	200,000
特記事項							

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業概要		中山間地域における農業生産条件の不利による耕作放棄地の発生を防ぎ、農地の持つ多面的機能の確保を図るため、農業生産条件の不利を補正することを目的に、国が維持管理等の共同作業の推進に要する経費を交付金として支出する中山間地域等直接支払事業を推進する。		新規・継続	事業優先順位	
				継続	B	
会計・款・項・目				所管課	市長公約事項	
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費				農林課	1:無	
投入指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度		
年度別事業費		62,436 千円	62,436 千円	62,436 千円		
特定財源	国・県支出金	45,975 千円	45,975 千円	45,975 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	16,461 千円	16,461 千円	16,461 千円		
目的		中山間地域では、農業生産条件の不利に加え、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、本事業を行うことにより耕作放棄地の発生を防ぐとともに、共同活動による地域の活性化や農村の景観や国土の保全に寄与する。				
令和6年度の目標						
・地区協定の維持及び確保 ・組織内の営農活動の推進 ・第6期対策の情報収集と適時の取組み						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	集落協定面積		ha	300	300	300
特記事項						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

農業人材育成事業		新規・継続		事業優先順位		
		継続		B		
会計・款・項・目		所 管 課		市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費		農林課		1:無		
事業概要	農業の担い手を確保し、持続的な農業生産と農業農村の振興を推進する。 ・認定農業者の確保と営農支援 ・新規就農者の確保と就農支援 ・持続可能な農業展開に向けた総合的な農業農村振興の推進					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		4,818 千円	4,818 千円	4,818 千円	
	特定財源	国・県支出金	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般 財 源	318 千円	318 千円	318 千円	
目的	夢の持てる農業の実現に向け、担い手の確保や育成、新規就農者の確保を進めるとともに、持続可能な農業生産のための仕組みづくりと、関係機関等による農業者支援を推進する。					
令和6年度の目標						
・【担い手確保】地域農業の担い手である認定農業者及び新規就農者の増加 ・【経営体育成支援事業】意欲ある経営体が規模拡大や経営多角化を図るために、農業機械等の整備を支援する。 ・【農村女性活動】女性でも収入の得やすい作物栽培を学ぶ機会をつくる。また、農村女性活動が活発化するよう支援する。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	農業生産法人及び農業生産組織(集落営農等)数		組織	20	20	20
	新規就農者(農業者子弟を含む)数		人	3	3	3
特記事項						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

農産物ブランド化事業			新規・継続		事業優先順位						
農産物ブランド化事業			継続		B						
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項						
一般会計・6農林水産業費・1農業費・3農業振興費			農林課		2:有						
事業概要			・「小諸の農」のファンを増やす。(＝小諸市の農業の地域ブランド化を推進) ・「ワイン(ぶどう栽培)」「そば」等、個別の農産物を差異化(＝個別農産物のブランド商品化)することで、販売向上と観光資源化を図る。 ・6次産業化の推進により、農業者の経営安定と所得向上を図る。								
投入指標			令和6年度		令和7年度		令和8年度				
			年度別事業費		30,593 千円		30,593 千円		30,593 千円		
			特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
				地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
				その他		0 千円		0 千円		0 千円	
				一 般 財 源		30,593 千円		30,593 千円		30,593 千円	
目的			農業者の所得向上と経営の安定化のため、特長的な農産物の振興や「小諸の農」の地域ブランド化、6次産業化を推進し、農業者の収入(販売額)増加と農村地域の活性化を目指す。								
令和6年度の目標											
・小諸市農業の地域ブランド化(＝ファンづくり)を推進する。 ・農産物の販路拡大や6次産業化の推進による高付加価値化を図り、個別農産物のブランド商品化を推進する。 ・個別商品(＝ブランド商品)の生産確保を図る。 ・そばの生産支援と加工販売を含めたそば振興との連携、連動不足について、観光局等との連携を強化し改善を図る。											
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	小諸の農のブランド(商品)化推進組織数			組織	2	2	2				
	市内ワイナリー数			件	8	8	8				
特記事項			令和元年度予算から6次産業化の取組みが、ブランド化の取組みに重複する部分も多いことから、農産物ブランド化事業(当事業)へ統合								

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業概要		小諸市が事業主体となり、土地改良事業等分担金徴収条例に基づく分担金等を徴収して、農業生産基盤である、農道、用排水施設、基幹水利施設、暗渠排水、畑地かんがい、ため池、農地等の整備を行う。				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		70,045 千円	48,500 千円	54,500 千円	
	特定財源	国・県支出金	9,000 千円	14,000 千円	14,000 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	6,208 千円	6,208 千円	3,000 千円	
		一般財源	54,837 千円	28,292 千円	37,500 千円	
目的	農業の生産性向上及び、農業構造(農地耕作条件)の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備を行う。					
令和6年度の目標						
農業生産基盤の整備と防災減災対策を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	農作業道整備延長		m	150	150	150
	用水路整備延長		m	100	100	100
特記事項	・市道7156号線(滝原区)農道改良は長期懸案事項であったほ場整備要望に対する代案。(産業団地が隣接で造成される影響も考慮の必要あり。)・みまき大池施設改修は地元との協定による測定機器の更新時期であり、あわせて施設改修を行う。(R5 地元地区との合意形成に時間を要する。)・用水ゲート設置は災害防除のため。					

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業概要		土地改良区等への事務的経費支援		新規・継続		事業優先順位	
投入指標			令和6年度	令和7年度	継続		A
	年度別事業費		22,690 千円	18,090 千円			
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円			
		地方債	0 千円	0 千円			
		その他	900 千円	0 千円			
		一般財源	21,790 千円	18,090 千円			
目的		土地改良区等の安定的・効率的な運営の確保のため。					
令和6年度の目標							
土地改良区等の定款、規約等及び総会等に基づき適切な支援を行う。							
活動目標	指標名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	小諸市土地改良連合会への補助金額			千円	5,985	5,985	5,985
	千ヶ滝湯川用水土地改良区への補助金額			千円	2,777	2,777	2,777
特記事項	小諸市土地改良連合会への補助を増加し人員確保を行ってもらい、ほ場整備区域(6地区)内の水路等維持補修を補助事業を活用し、事業主体として実施できないか、また、直接支払(中山間・多面的)交付金事業の事務を移管できないか、検討していく必要がある。						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業概要		農業農村振興対策事業補助金交付要綱等に基づき、農業者等が自ら農業の生産性向上及び、農業構造(農地耕作条件)の改善を図るために必要な農業生産基盤の整備に取り組むことに対し支援を行う。				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		7,613 千円	7,700 千円	7,700 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	7,613 千円	7,700 千円	7,700 千円	
目的	地域の特性に応じた農業生産活動として行われる、地域資源の適切な保安全管理や効果的な農業基盤整備のための地域協働活動に対し支援を行う。					
令和6年度の目標						
地域の特性に応じた農業生産活動に係る支援を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	原材料支給実施箇所		件	42	42	30
	機械借上げ実施箇所		件	8	8	8
特記事項						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業名		新規・継続		事業優先順位			
多面的機能支払交付金事業		継続		B			
会計・款・項・目		所 管 課		市長公約事項			
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費		農林課		1:無			
事業概要	農業・農村の多面的機能発揮のための地域活動や営農継続等に対する支援を行う。農地維持支払として、地域資源の基礎的保全活動や多面的機能を支える共同活動を支援。資源向上支払として、地域資源の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化のための活動を支援。						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		15,635 千円	15,635 千円	15,635 千円		
	特定財源	国・県支出金	11,725 千円	11,725 千円	11,725 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一 般 財 源	3,910 千円	3,910 千円	3,910 千円		
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるようにする。						
令和6年度の目標							
引き続き活動支援を行う。							
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	田における活動面積			ha	90	90	90
	畑における活動面積			ha	222	222	222
特記事項	H29年度 活動組織数7団体 活動面積254ha R2年度 活動組織数8団体 活動面積252ha H30年度 活動組織数7団体 活動面積254ha R3年度 活動組織数8団体 活動面積251ha R1年度 活動組織数8団体 活動面積255ha R4年度 活動組織数10団体 活動面積312ha						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
林業振興事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費			農林課	1:無		
事業概要	・林業振興のため必要な事業を各種団体へ委託し活性化、又は被害防除を行う。 ・林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表し森林整備に活用する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		3,458 千円	7,000 千円	4,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,458 千円	7,000 千円	4,000 千円	
目的	・林地台帳管理システムの整備 ・深沢施設の適正な維持管理					
令和6年度の目標						
・林地台帳管理システムの精度向上を図り、森林所有者に公表を行う。 ・深沢管理施設の適正な維持管理を実施する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	深沢管理施設のパトロール回数		回	4	4	4
特記事項	平成28年度の森林法改正に伴い、森林所有者の情報を林地台帳として整備し公表する制度が創設されたことを受け、林地台帳管理システムの構築を行い、公表に向けた森林所有者情報等の精度向上を行う必要がある。					

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事務事業名		新規・継続		事業優先順位	
野生鳥獣保護・管理事業		継続		B	
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項	
一般会計・6農林水産業費・2林業費・1林業振興費		農林課		1:無	
事業概要	野生鳥獣対策実施隊による野生鳥獣の適正な捕獲及び被害防止対策の実施。				
投入指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費	13,648 千円	14,000 千円	14,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	3,005 千円	2,500 千円	2,500 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	2,300 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	一般財源	8,343 千円	9,500 千円	9,500 千円	
目的	野生鳥獣による人的被害・農林水産業被害等を軽減することを主たる目的としつつ、生物多様性保全・景観保全の観点から市民の野生鳥獣への意識向上を図る。				
令和6年度の目標					
鳥獣被害防止計画に基づく対象鳥獣の計画的な捕獲を実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	ニホンジカ捕獲頭数	頭	300	300	300
	有害鳥獣による農業被害額	千円	2,000	2,000	2,000
特記事項					

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業概要			長野県が推進する森林の里親促進事業により、環境保全活動に熱心に取り組む企業と共に協働の森づくりを行う森林の里親契約を締結し、企業支援による協働の森づくりを行う。			
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		500 千円	500 千円	500 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	500 千円	500 千円	500 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	森林の里親企業と協働し森林整備を進めながら、様々な交流活動へと発展させる。					
令和6年度の目標						
森林をキッカケとした企業との様々な交流から、当市のシティプロモーションを進め、農林商工観光を含めた経済振興へと発展させる。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	森林整備体験学習の実施回数		回	6	6	6
特記事項						

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

事業概要		森林の多面的な機能を発揮させ持続可能な社会を実現するため、森林の環境整備(間伐・除伐・下刈り等)を促進させるとともに、森林環境譲与税を活用した事業を推進することで、森林の循環サイクルを推進していく。				
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		23,363 千円	25,000 千円	25,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,847 千円	2,000 千円	2,000 千円	
		一般財源	21,516 千円	23,000 千円	23,000 千円	
目的	森林の持つ多面的機能(生物多様性や水資源の保全、土砂災害を防止する等)の発揮と、森林の循環サイクルの促進					
令和6年度の目標						
・森林経営管理制度実施方針に基づき、意向調査・集積計画作成・施業の推進を図る						
・林業事業体が効率的な森林整備を行えるよう森林経営計画区域を拡充する。						
・森林環境譲与税を活用し、森林所有者自らが森林経営が行えるよう補助制度を拡充する。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	森林環境譲与税を活用した森林整備面積		ha	10	10	10
	森林経営管理意向調査数		件	260	300	300

施策 4-1 農家の担い手を育て儲かる農業を目指します

施設運営事業			新規・継続		事業優先順位		
会計・款・項・目			継続		B		
小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計・1施設費・1施設費・1施設費			所 管 課		市長公約事項		
			農林課		1:無		
事業概要	駆除したシカを有効活用しオリジナルの製品化を行う。 ・シカ肉を用いたペットフードとして、精肉及び加工商品の販売。 ・シカ皮及び角等を用いた商品開発。 ・施設の安定的な経営のため、商品等の原料となるニホンジカの安定供給の仕組みを確立する。						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	年度別事業費		2,700 千円	3,000 千円	3,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	2,700 千円	0 千円	0 千円		
		一 般 財 源	0 千円	3,000 千円	3,000 千円		
目的	農作物等に被害を及ぼす有害鳥獣(シカ)の駆除個体を有効活用し、ペットフードへと加工し商品化するためのシステム作りの構築、近隣自治体との広域的な連携の構築、さらには解体及び加工の為の人材を確保し雇用の創出を図る。						
令和6年度の目標							
・野生鳥獣商品化業務(原料確保、製造、販売)を一括委託して安定的運営を図る。 ・施設の適切な維持管理を行う。							
活動目標	指 標 名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	ニホンジカの加工個体数			頭	1600	1600	1600
	野生鳥獣商品化施設運営会議			回	12	12	12
特記事項							

事務事業名					新規・継続
農業総務費運営費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		325 千円	325 千円	325 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		325 千円	325 千円	325 千円
事務事業名					新規・継続
農業総務費人件費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・2農業総務費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		125,656 千円	125,656 千円	125,656 千円
	特定財源	国・県支出金	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	1,880 千円	1,740 千円	1,740 千円
	一般財源		121,776 千円	121,916 千円	121,916 千円
事務事業名					新規・継続
農地費運営費					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		1,638 千円	1,020 千円	1,020 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	26 千円	26 千円	26 千円
	一般財源		1,612 千円	994 千円	994 千円
事務事業名					新規・継続
県営農業農村整備事業					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		11,667 千円	53,119 千円	29,953 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	10,400 千円	28,700 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		1,267 千円	24,419 千円	29,953 千円
事務事業名					新規・継続
農業用施設維持補修事業					継続
会計・款・項・目					所管課
一般会計・6農林水産業費・1農業費・4農地費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		42,020 千円	26,200 千円	26,200 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		42,020 千円	26,200 千円	26,200 千円
事務事業名					新規・継続
高峰財産区事業					継続
会計・款・項・目					所管課
高峰財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		4,043 千円	4,000 千円	4,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	43 千円	4,000 千円	4,000 千円
	一般財源		4,000 千円	0 千円	0 千円
事務事業名					新規・継続
御牧ヶ原財産区事業					継続
会計・款・項・目					所管課
御牧ヶ原財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費					農林課
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		31,960 千円	30,000 千円	30,000 千円
	特定財源	国・県支出金	4,370 千円	1,000 千円	1,000 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	9,590 千円	29,000 千円	29,000 千円
	一般財源		18,000 千円	0 千円	0 千円

事 務 事 業 名					新規・継続
古牧財産区事業					継続
会計・款・項・目					所 管 課
古牧財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費					農林課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		6,200 千円	6,000 千円	6,000 千円
	特定 財源	国・県支出金	929 千円	900 千円	900 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	1,071 千円	5,100 千円	5,100 千円
		一 般 財 源	4,200 千円	0 千円	0 千円
事 務 事 業 名					新規・継続
滋野財産区事業					継続
会計・款・項・目					所 管 課
小諸市滋野財産区特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費					農林課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		742 千円	700 千円	700 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	62 千円	700 千円	700 千円
		一 般 財 源	680 千円	0 千円	0 千円
事 務 事 業 名					新規・継続
乗瀬地区市有地管理事業					継続
会計・款・項・目					所 管 課
乗瀬地区市有地管理事業特別会計・1農林水産業費・1林業費・1林業総務費					農林課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		241 千円	240 千円	240 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	41 千円	240 千円	240 千円
		一 般 財 源	200 千円	0 千円	0 千円
事 務 事 業 名					新規・継続
農地農業用施設単独災害復旧事業					継続
会計・款・項・目					所 管 課
一般会計・11災害復旧費・1農林水産施設災害復旧費・1農地農業用施設災害復旧費					農林課
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		50 千円	50 千円	50 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
		一 般 財 源	50 千円	50 千円	50 千円

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-2	地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

所 管	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

首都圏からの良好なアクセスとリスク分散の適地としての認知度、豊かな自然環境と軽井沢エリアとしてのブランド力など、企業が求める一定条件を備えた地域として積極的な企業誘致を進めているが、提供できる商品として自己所有地がないため、企業からの引き合いに対する競争力を失っている。持続的な地域経済を構築するために不可欠な既存企業や新規起業者の支援は、地域外の人材誘致など新たな視点で取り組む必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響は、多くの業種の事業活動にこれまで経験したことのない停滞をもたらしており、継続した支援を必要とする。また、燃料及び原材料高騰の影響も把握する必要がある。

◆方針

目 的
企業誘致は引き続き地域の強みを活かして取り組み、外国籍企業やアフターコロナを見据えたサテライトオフィスなどを新たなターゲットに加え進めるが、これまで課題であった競争力を高めるため、まずは既存工業団地の未造成、未分譲地を早期に買収、商品化するとともに、次期工業団地計画に着手する。既存企業の事業拡大や技術力向上への支援に引き続き注力するほか、事業者の自主的な取り組みへの支援や事業承継等の課題にも対応する。また、起業・創業は地域内人材だけに頼らず、新たな経済の担い手づくりとして人材誘致にも積極的に関わり、新型コロナウイルス感染症と燃料・原材料高の影響からの回復を図り地域経済の活性化につなげる。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・新産業団地整備の業務を着実に進めるとともに、積極的な企業誘致とビジネスの集積を図る。
- ・企業訪問などを通じて市内企業の動向やニーズを把握し、経済環境の変化も踏まえた的確な支援を行う。
- ・商工会議所と連携し起業創業を支援し、経済とまちづくりの担い手を育成する。
- ・新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた事業者を継続的に支援する。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画
①地域住民だけでなく、移住者など地域外ニーズにも応えられる就業先がある状態。 ②起業・創業により新たな事業活動や遊休不動産等の活用などの経済効果が生じる状態。 ③継続的な支援により、新型コロナウイルス感染症等の影響による消費の落ち込みを改善した状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	企業立地数					
設定理由	新規企業の立地や既存企業の増設は、新たな雇用の創出と税収確保など財政力の強化に直結するから。					
算式						単位 件
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	4	計画	5以上	5以上	5以上	5以上
		実績	9	19		
指標名	市内での起業・創業件数					
設定理由	起業・創業により経済の担い手が増え、事業活動や消費行動が広がることで地域経済が活性化するから					
算式	小諸商工会議所「創業塾」「チャレンジ起業相談室」における件数					単位 件
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	16	計画	16以上	16以上	16以上	16以上
		実績	18	18		
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・他自治体との差別化を図り、「こもろらしさ」を地域の強みに加えて企業やビジネスの誘致を積極的に進める。IT関連企業の集積やサテライトオフィス、シェアオフィスなどの誘致を強化する。
- ・企業誘致の競争力を高めるため新産業団地整備を進める。
- ・既存企業の事業拡大や設備投資への支援を継続するとともに、人材確保への支援を強化する。
- ・商工会議所と連携し起業者を育成するとともに、空き店舗等の活用では外部人材の誘致や支援も強化し、地域経済の担い手を確保する。
- ・新型コロナウイルスや燃料・原材料高の影響を受ける事業者への的確な支援を実施する。

◆SDGsの取り組み

ゴール8 「働きがいも経済成長も」

ゴール9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

豊かな自然環境や気候風土など地域の特色を活かした経済活動の定着を図るため、企業誘致や企業・事業者支援に取り組み、安定した雇用環境を生み出す。

◆個別計画

◆特記事項

施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
労働振興事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・5労働費・1労働費・1労働諸費			商工観光課	1:無		
事業概要	・雇用促進や就労支援のための就職相談会、事業所視察会等の実施 ・勤労者の福利増進のため生活資金融資制度の実施 ・勤労者の福利増進のための事業支援					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		71,857 千円	71,876 千円	71,876 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	70,121 千円	70,121 千円	70,121 千円	
	一般財源		1,736 千円	1,755 千円	1,755 千円	
目的	雇用の促進と勤労者の福利増進を図る。					
令和6年度の目標						
・例年行っている小諸北佐久勤労者互助会への加入促進と加入者の福利厚生事業の更なる向上を目指す。 ・労政審議会の開催に加え、職業安定協会、佐久地域振興局等の関係機関と連携した子育て期の女性や若年者の雇用促進と就労支援に向けた取組みの周知を図る。 ・小諸市の企業を高校生に知ってもらうために、佐久地域の高校と連携し情報提供を図る。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	労政審議会の開催		回	1	1	1
	小諸北佐久勤労者互助会へ新規加入した市内事業所数		事業所	3	3	3
特記事項	・小諸・北佐久勤労者互助会として、立科町、御代田町、軽井沢町の会員数の増加についても、各町の事務局担当課を通じて引き続き働きかけを行っていく。					

施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
商工業総合振興事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費			商工観光課	1:無		
事業概要	・商工会議所が行う事業に対する助成 ・商店会連合会への助成 ・空き店舗の活用促進 ・既存事業者への支援 ・起業への支援					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		33,252 千円	34,251 千円	34,251 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源		33,252 千円	34,251 千円	34,251 千円	
目的	商工会議所が実施する経営指導、起業相談に助成を行い、商工業の振興を図る。 商店街の活性化により中心市街地の賑いを創出する。					
令和6年度の目標						
・小諸市の商工業の振興や課題解決のため中小企業振興審議会を開催し、振興策について議論を進める。 ・商店街が活性化されるような各種イベントや既存店舗の活性化を支援する。 ・チャレンジ起業相談室及び創業塾と連携し18件の起業を実現させる。 ・チャレンジ起業相談室と連携し、空き店舗等の活用を促進するとともに、空き店舗を活用した小諸での起業を実現できるよう支援する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	中小企業振興審議会の開催		回	2	2	2
特記事項	チャレンジ起業相談室を通じた起業数		件	20	20	20

施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事業概要			事業優先順位			
制度融資事業			B			
会計・款・項・目			市長公約事項			
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費			1:無			
・中小企業者に対する制度融資の実施						
投入指標	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	年度別事業費		693,020 千円		578,020 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円		0 千円	
		地方債	0 千円		0 千円	
		その他	652,000 千円		502,000 千円	
		一般財源	41,020 千円		76,020 千円	
融資あっせん及び融資保証料、利子の補給を行い、中小企業者の経営安定を図る。						
令和6年度の目標						
・中小企業の利用しやすく効果的な融資制度とする。						
・各金融機関の担当者や経営相談員との連携を図り、融資制度について検討するために融資あっせん委員会を開催する。						
・新型コロナウイルス経済対策として、新型コロナウイルス感染症対策資金の利子補給を行い、影響を受けている中小企業者の支援をする。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	融資あっせん委員会の開催		回	1	1	1
特記事項	市制度融資実績		千円	300,000	300,000	300,000

施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事務事業名			新規・継続		事業優先順位	
企業立地推進事業			継続		B	
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項	
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費			商工観光課		2:有	
事業概要						
・新規企業の誘致 ・既存企業の支援 ・産業団地に関すること						
投入指標						
		令和6年度		令和7年度		令和8年度
特定財源	年度別事業費		127,355 千円	127,355 千円	127,355 千円	
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
	その他		102,357 千円	72,592 千円	72,592 千円	
	一般財源		24,998 千円	54,763 千円	54,763 千円	
目的						
市民の生活基盤となる雇用の場の確保と商工業の振興・発展のため、企業の新規誘致及び既存企業の支援を行う。						
令和6年度の目標						
・積極的な営業や情報収集により企業のニーズを把握し、企業支援、企業・店舗誘致に取り組む。 ・民間のコワーキングスペースの活用や既存企業との連携によりIT企業の誘致をする。						
活動目標						
指標名			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
企業支援助成金交付件数			件	50	50	50
企業相談訪問件数			件	150	150	150
特記事項						
新産業団地整備に係る業務は、令和5年度から「産業団地整備事業」を新設し移行する。						

施策 4-2 地域の強みを活かした企業誘致と事業者支援、起業者の育成を強化し、地域経済の活性化を図ります

事業概要			新規・継続		事業優先順位	
産業団地整備事業			継続		A	
会計・款・項・目			所 管 課		市長公約事項	
小諸市産業団地整備事業特別会計・1産業団地整備事業費・1産業団地整備事業費・1産業団地整備事業費			商工観光課		2:有	
・産業団地の造成、販売						
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		50,000 千円	700,000 千円	10,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	50,000 千円	700,000 千円	10,000 千円	
		一 般 財 源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	雇用及び税収の確保のため、新たな産業団地を整備する。					
令和6年度の目標						
用地交渉に着手し、並行して関係機関との協議を進める。						
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	事業進捗			用地交渉・造成	造成・販売	販売
特記事項						

事 務 事 業 名					新規・継続	
商工総務費人件費					継続	
会計・款・項・目					所 管 課	
一般会計・7商工費・1商工費・1商工総務費					商工観光課	
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		92,565 千円	92,565 千円	92,565 千円	
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	885 千円	904 千円	0 千円	
	一 般 財 源		91,680 千円	91,661 千円	92,565 千円	
事 務 事 業 名					新規・継続	
産業団地整備事業特別会計繰出金					継続	
会計・款・項・目					所 管 課	
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費					商工観光課	
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		50,000 千円	700,000 千円	10,000 千円	
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一 般 財 源		50,000 千円	700,000 千円	10,000 千円	

政策 4	地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
施策 4-3	暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

所 管	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

良好なアクセスと豊かな自然環境、軽井沢エリアとしてのブランド力など、観光誘客や移住・定住につながる地域の魅力は一定の評価を受けているが、効果的なプロモーションなど情報発信や素材づくりに課題がある。観光面では、こもろ観光局と連携した「観光地域づくり」の具体化と動物園再整備による懐古園の魅力アップなど素材の魅力づくりを進め、各事業者が一体となった誘客の取り組みが必要である。新型コロナウイルス感染症の影響は、観光関連産業にこれまで経験したことのない停滞をもたらしており、引き続き事業継続や誘客への支援を必要とする。また、燃料及び原材料高騰の影響を把握する必要がある。一方、新型コロナウイルス感染症の影響で移住ニーズが高まっているが、人口減少対策として移住・定住をさらに進めるためには、充実した素材の提供が課題であり、事業者との連携など新たな視点を持ち、より踏み込んだ取り組みとすることが必要である。

◆方針

目的
こもろ観光局と連携し、地域が持つ魅力を効果的に伝える手法の検討とブランド力を活かした情報発信を進め観光誘客を図るとともに、地域資源の活用による新たな観光素材の掘り起こしなど、観光地域づくりを進め地域の誘客力向上を図る。新型コロナウイルス感染症等の影響からの事業継続、消費回復に取り組み地域経済の活性化につなげる。 移住・定住促進では、「ほどよい田舎での暮らし方」や素材の提案に民間事業者の視点を加え、誘致活動や体験事業などで希望者が具体的な検討をしやすい環境整備を図る。また、人口減少対策を見据えたまちづくりの担い手育成として、人材誘致の観点を持ち積極的に進める。

◆今後の取り組みのうち令和6年度重点方針と目標

- ・火山館の改修や登山道の整備を行い、山岳観光のブランド化を進める。
- ・移住定住促進の取組みを強化し、人口社会増を継続する。
- ・動物園再整備第2期整備に着手し、開園100周年に向けた準備を進める。
- ・新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた事業者を継続的に支援する。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画
①事業関係者や地域住民が地域の強みや魅力を認識し、連携した誘客に取り組む状態。 ②新築住宅着工数や空き家バンク物件成約件数の向上により移住・定住が増え、移住者を中心とした事業活動や地域活動が発生した状態。 ③継続的な支援により、新型コロナウイルス感染症等の影響による消費の落ち込みを改善した状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	新築住宅着工数と空き家バンク契約数					
設定理由	この数値の向上が定住人口の増加につながるため。					
算式						単位 件
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	171(内空き家バンク契約数26件)	計画	160	160	160	160
		実績	184	222		
指標名	市内宿泊者数					
設定理由	市内の宿泊者数を観光やビジネス活動の物差しとして捉えると、観光産業等の回復を図るためには、この数値の回復、増加が必要となるから					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	165,120 ※平成30年度数値	計画	130,000	165,000	166,000	167,000
		実績	88,687	126,054		
指標名	地域ブランド調査の魅力度全国順位					
設定理由	客観的に小諸市を評価する調査であるため					
算式						単位 位
目標値	計画策定時		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	185	計画	180以内	180以内	180以内	180以内
		実績	303	302		

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

「古くて新しいまち」や「高原リゾート」「動物園再整備」「懐古園の魅力」などのプロモーションにより「こもろらしさ」を発信し、観光振興、移住定住促進につなげる。 ・高原ウェルネスリゾート推進プロジェクトを着実に進め、新たな高原リゾートを確立する。 ・効果的な情報発信と民間事業者との連携により移住定住促進を進める。 ・財源確保を図りつつ、動物園再整備を着実に進める。 ・こもろ観光局と連携し観光地域づくりを進めるとともに、新型コロナウイルス等の影響が深刻な観光関連産業を支援する。						
--	--	--	--	--	--	--

◆SDGsの取り組み

ゴール8「働きがいも経済成長も」 地域が持つ魅力とブランド力を活かし観光関連産業の振興により、地方文化の振興や地場産品の販売促進につなげ、地域の特色を活かした経済活動の定着を図る。 また、人口減少対策として移住・定住を推進し、地域経済の安定や担い手確保を進める。						
--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

観光地域づくりビジョン／動物園再整備基本計画						
------------------------	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
布引温泉管理事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費			商工観光課	1:無		
事業概要	布引温泉源泉の維持管理					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		1,058 千円	1,058 千円	1,058 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,015 千円	996 千円	966 千円	
		一般財源	43 千円	62 千円	92 千円	
目的	「日帰り温泉施設 あぐりの湯こもろ」及び「布引温泉こもろ」に安定的に送湯するため、維持管理を適切に行う。					
令和6年度の目標						
・定期的に源泉ポンプ4基の維持管理を行う。 ・安定した湧出量を確保し必要な送湯を行うため、月2回源泉の湧出量等の確認と適正な管理を行う。 ・法定検査ではないが、源泉の安全性を保つため年1回の自主的検査を行う。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	源泉の湧出量と温度の確認回数		回	24	24	24
	源泉の衛生検査の回数		回	1	1	1

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
まちなか活性化施設運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・2商工振興費			商工観光課	1:無		
事業概要	駅前賑わいを創出している「市民ガーデン」と旧北国街道沿いのまちづくりに寄与している「ほんまち町屋館」「与良館」等の交流拠点施設を指定管理方式で管理運営する。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		19,583 千円	14,000 千円	14,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源		19,583 千円	14,000 千円	14,000 千円	
目的	交流人口の増加を図るため、各施設の特色を活かした交流拠点となるように施設の運営を行うと伴に、施設の在り方についても検討する。					
令和6年度の目標						
・市民ガーデン、ほんまち町屋館、与良館の管理運営をする指定管理者が各施設の設置目的に沿った管理と各種講座及びイベント等の自主事業が開催できるよう、指定管理者と連携を図り、維持管理に努める。 ・ほんまち町屋館のウッドデッキの改修等について、指定管理者と合意形成を図り撤去工事等進める。 ・荒町館のあり方について、指定管理者の荒町区と話し合いの場を設け、公民館として移行していくか又は施設の方向性を決めていく。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	市民ガーデンのレジ利用者の人数		人	23,003	23,348	23,348
特記事項	ほんまち町屋館のイベント・地域交流日数		日	50	50	50

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
観光振興事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費			商工観光課	2:有		
事業概要	こもろ観光局と連携し、地域の魅力を効果的に情報発信することで観光誘客を図る。					
	・こもろ観光局と連携した観光振興につなげる事業実施 ・関係団体による観光振興等につながるイベント開催等支援 ・観光関連情報の収集と発信					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		9,922 千円	9,922 千円	9,922 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	9,922 千円	9,922 千円	9,922 千円	
目的	こもろ観光局と連携し、ブランド力を活かした情報発信により観光誘客を図るとともに、新たな観光素材の掘り起こしなど地域経済の活性化につなげる。					
令和6年度の目標						
・こもろ観光局と連携し、観光統計やKPI数値等を活用して戦略的で効果的な観光事業を実施する。 ・関係団体、庁内関係部署と観光事業遂行のため主となって情報共有、事業連携を推進していく。 ・訪日旅行誘客(インバウンド)誘客に伴い、地域の観光事業者の受け入れ態勢をこもろ観光局と連携し整備する。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	こもろ観光局(日本版DMO)との連携に係る推進会議の開催数		回	12	12	12
	ICT(ホームページ等)を活用した観光情報の発信回数		回	400	400	400
特記事項						

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続		事業優先順位		
観光施設運営事業			継続		B		
会計・款・項・目			所管課		市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費			商工観光課		1:無		
事業概要	旧脇本陣滞在型交流施設(糸屋)及び観光施設付属トイレの適正な運営及び維持管理を行う。						
	・旧脇本陣滞在型交流施設「糸屋」						
	・火山館(太陽光発電設備)、トイレ(浄化槽)、 バイオトイレ(R4太陽光発電設備改修)						
	・浅間山荘公衆トイレ						
	・車坂峠公衆トイレ(環境省設置、市管理 R4環境省貯水槽設置)						
投入指標			令和6年度		令和7年度		
	年度別事業費		24,643 千円		8,643 千円		
	特定財源	国・県支出金		8,000 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		8,876 千円		1,106 千円	
		一 般 財 源		7,767 千円		7,537 千円	
目的	交流人口、関係人口の増加を図るため、利用しやすい観光施設の管理運営を図る。						
	令和6年度の目標						
・火山館の屋根の修繕及び太陽光発電設備の交換修繕が効率的かつ年度内に事業が完了するよう実施する。							
・浅間山防災拠点である火山館の将来的に安定した運営方法について検討する。							
・糸屋のより良い活用方法、適正な運営及び維持管理を図る。							
活動目標	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	観光施設(トイレ等)の見回り数		回	4	4	4	
	火山館の訪問数		回	4	4	4	
特記事項							

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
移住・定住促進事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費			商工観光課	2:有		
事業概要	移住・定住を促進する事業の推進 ・移住・定住促進に係る支援業務 ・移住定住人口の増加に向けた情報の収集と発信 ・空き家バンクの運営					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		43,049 千円	43,049 千円	43,049 千円	
	特定財源	国・県支出金	18,750 千円	18,750 千円	18,750 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	24,299 千円	24,299 千円	24,299 千円	
目的	市外からの移住者等の流入促進と市外への流出の抑制を図り定住者を増やすことで人口減少に歯止めをかける。					
令和6年度の目標						
・民間宿泊施設を活用した移住体験助成制度を運用し、移住希望者の増加を図る。 ・子育て世代や空き店舗活用、創業希望者をターゲットとした移住推進の取り組みを行う。 ・小諸の特色を活かしたツアーの企画やPRを行う。 ・空き家バンク登録件数を増やすとともに成約率も維持する。						
活動目標特記事項	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	移住につながる催しへの参加やイベントの開催件数		回	10	10	10
	空き家バンクへの登録件数		件	50	50	50

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
観光地域づくり事業			継続	B		
会計・款・項・目			所管課	市長公約事項		
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費			商工観光課	2:有		
事業概要	・こもろ観光局と連携協力し、小諸の自然や歴史・文化を活かした効果的なプロモーションを展開するとともに、地域の魅力を掘り起こし、市全体で来訪者を受け入れる「観光による地域づくり」に取り組み、インバウンドも含めた交流人口の増加を目指す。また、動物園再整備により懐古園の魅力アップを進め有料入園者数の増加を図る。 ・企業版ふるさと納税を活用した高原ウェルネスリゾート推進プロジェクトにより、上信越高原国立公園(浅間山・高峰高原)を中心とした観光地域づくりを進める。					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		394,777 千円	157,102 千円	30,501 千円	
	特定財源	国・県支出金	170,638 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	151,100 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,001 千円	1 千円	1 千円	
		一般財源	71,038 千円	157,101 千円	30,500 千円	
目的	こもろ観光局と連携・役割分担により、観光資源、地域資源を活用した観光地域づくりのための各種事業を実施し、懐古園、高峰高原及び地域の活性化を図る。					
令和6年度の目標						
・こもろ観光局を含めた観光振興推進体制を構築するため、組織体制の見直しを行う。 ・こもろ観光局及び庁内関係部署と連携しブランディングの取り組みを進める。 ・動物園第2期整備工事の建設工事の年度であるため年度内に完了するよう着実に行う。 ・ゼロカーボン戦略推進、高原ウェルネスリゾート推進のため、Eバイク活用の検討及び観光施設EVスタンド設置について調査研究を行う。						
活動目標	指標名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	観光地入込数		万人	179	187	195
特記事項						

施策 4-3 暮らしやすさや地域の魅力を発信し、移住・観光交流人口の増加とまちづくりの担い手育成を進めます

事務事業名			新規・継続	事業優先順位		
懐古園運営事業			継続	B		
会計・款・項・目			所 管 課	市長公約事項		
小諸公園事業特別会計・1公園費・1公園費・1公園費			懐古園事務所	1:無		
事業概要	・懐古園の維持管理及び運営を行う。(動物園、遊園地、駐車場を含む)					
投入指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年度別事業費		156,000 千円	166,000 千円	166,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	155,999 千円	138,860 千円	0 千円	
		一般財源	1 千円	27,140 千円	166,000 千円	
目的	観光施設としての懐古園の魅力アップのため、適切な施設整備と維持管理を行う。					
令和6年度の目標						
・園内の桜の樹勢回復を図りながら、桜の植栽を進めていく。 ・県内外の幼稚園、保育園等へ営業を行い、親子遠足などによる来園者増を目指す。 ・こもろ観光局や観光交流係と連携して誘客や宣伝を行い、交流人口の増加を図る。 ・動物園再整備第2期工事に着手し、開園100周年に向けた準備を進める。 ・園内各施設の維持管理や修繕を計画的に進める。						
活動目標特記事項	指 標 名		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	懐古園への来園者数		人	220,000	220,000	220,000
	動物園のツイッターのフォロワー数		人	38,000	39,000	39,000

事 務 事 業 名				新規・継続	
小諸公園事業特別会計繰出金				継続	
会計・款・項・目				所 管 課	
一般会計・7商工費・1商工費・3観光費				商工観光課	
投入 指標			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	年度別事業費		26,287 千円	47,037 千円	39,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一 般 財 源		26,287 千円	47,037 千円	39,000 千円